

米国議会図書館所蔵 Barrett Collection 目録

松 村 潤
加 藤 直 人

は じ め に

1976年、編者(松村)は「米国議会図書館所蔵満洲語文献目録」を『東洋学報』誌上に発表した⁽¹⁾。この目録は、Ⅰ. 刊本、Ⅱ. 鈔本、Ⅲ. Barrett Collection の三部から構成され、Ⅲ. Barrett Collection については、

第三の文書類は、1931年にかけて北京に在住されていた Edward Barrett 氏が、L.C. に納められたもので、Barrett Collection と名づけられている。これにはNo.1からNo.114までの番号が付けられているが、私の調査したところでは、内務府の文書である。……内容はNo.1からNo.25までには、銀庫、緞庫、氈庫などの各年度における実存目録や鑾儀衛生息銀兩典置地畝清冊といった種類のものが含まれている。またNo.26からNo.41までは一束になっており、乾隆、嘉慶年間の題本、佐領承襲文書などである。No.42以下は、八旗の各都統衙門からの報告書で、紅白事件すなわち所属の旗人の慶弔に際して下賜された恩賞の銀両を、各年度ごとにまとめたものが大部分を占めている⁽²⁾。

と、簡単なる紹介を付したのみで、目録の作成については他日を期した。編者(松村)は、単なる表題と年次を記すのみの「文書一覧表」ではなく、解題目録を作成しようと考えており、そのために、満文檔案を再度詳細に調査したいと望んでいたが、その機会を得ずして現在に及んでしまった。

1995年3月、神田信夫、細谷良夫、加藤直人の三氏は、米国議会図書館を訪れ、Barrett Collection をあらためて確認されて、この文書群の重要性を編者(松村)に説かれ、早期の目録作成をもとめられた。また、同館 Chinese Section の居蜜 Chu, Mi 女史からも、再三にわたって文書の目録化に対する強い要望を受けた。おりから三菱財団研究助成金の補助を幸いにして受けることができ、1997年9月下旬より Washington D.C. に赴き、議会図書館において同 Collection の目録作成にあたった次第である。なお、今回の調

査にあたっては、日本大学の在外研究員として University of California, Santa Barbara に滞在されていた加藤直人教授の協力を得た。

前回の調査の際、Orientalia Division の Warren Tsuneishi 氏のご努力にもかかわらず、本コレクションを収集・整理した Edward Barrett 氏が、いかなる経歴の人で、また、このコレクションがいかなる経緯によって議会図書館にもたらされたか、まったく不明であった。今回、居蜜女史は該館に保管される旧記録を涉猟され、この Barrett Collection が、中国学者として令名の高い Field Museum of Natural History, Chicago の Barthold Laufer 博士の推薦によって、L.C. に購入されたことをつきとめられた⁽³⁾。ちなみに、この記録には、その際、Laufer 博士が、114件の文書の詳細なる解題目録を作成したとあるが、居蜜女史によれば、その目録は現在見あたらないということであった。

今回の調査の結果、Barrett 氏の整理にはきわめて問題があり、係わりのない檔冊を合綴したものや、意図的に「満漢合璧」を装ったものなどが少なからず含まれていることが判明した。目録作成にあたって、これらをすべて別個の文書として分けたため、本目録における総点数は164件を数えている。

本コレクションは、先述のとおり、内務府関係の文書である。そのなかで最大の数を占めるのが、八旗各衙門から内務府に提出された「紅白冊」74件で、その内訳は、正黄旗漢軍13件（満文、乾隆三年〈1738〉～乾隆十三年〈1748〉）、鑲黄旗満洲蒙古25件（満文、雍正七年〈1729〉～乾隆九年、含無年月）、鑲黄旗漢軍4件（漢文、乾隆三年～乾隆九年、含無年月）、鑲白旗漢軍1件（満文、乾隆二年）、正紅旗漢軍12件（満文、乾隆二年～乾隆十五年、含無年月）、鑲紅旗満洲蒙古1件（満文檔冊、乾隆十四年）、正藍旗満洲蒙古6件（満文、雍正十年～乾隆十五年）、鑲藍旗満洲蒙古5件（満文、雍正三年～雍正十一年）、鑲藍旗漢軍7件（漢文、乾隆四年～乾隆五年）である。

いわゆる「紅白冊」の文書形式は、各衙門によってそれぞれ異なるが、おなじ「漢軍」でも、満文で文書を作成する衙門（正黄旗、鑲白旗）と漢文で文書を作成する衙門（鑲黄旗、鑲藍旗）があるのは興味深い。「満洲」、「蒙古」の紅白冊については、衙門によって相違はあるが、鑲黄旗の例をとってみると、鑲黄旗満洲の衙門で鑲黄旗蒙古からきた文書（すでに冊子状に綴じられている）と自衙門の文書を合綴して（その部分に「鑲黄旗満洲都統之印」で騎縫する）、内務府に提出している。紅白冊は、さきにも述べたとおり、旗人の慶弔に対する下賜銀の記録であり、18世紀前半、すなわち清朝初期の旗人の生活を知る貴重な資料であることはあらためて述べるまでもない。

雍正末ごろから嘉慶にかけての銀庫の黄冊類、康熙二十年（1681）から光

緒にいたる武備院の黄冊等、各官署の檔冊も貴重である。また、宮中造営に係わる諸費用の支出記録（もっとも古いものは康熙十二年〈1673〉）や、道光年間の円明園包衣三旗護軍營教養兵の錢糧に関する檔冊11件も興味深い。

本コレクションの文書群がもつ価値については、ここで、それぞれ個別に論ずるべきであろうが、紙幅の関係もあり、別稿に委ねることにする。

なお、今回の調査にあたっては、同館の居蜜女史にお世話になり、三菱財団研究助成金による補助を得た。ここに厚く御礼申し上げる次第である。

（松村 潤）

註

（1）『東洋学報』第57巻第1-2号、1976年6月。

（2）註（1）参照。

（3）居蜜女史が探し出された *Report of the Library of Congress, 1932-1933* (Division of Orientaria, The Library of Congress, US Government Printing Office, 1934) の “Chinese and Manchu Manuscripts, Documents” という記事には次のようにある。

Manuscripts in the Chinese collection were augmented by 114 documents purchased on the recommendation of Dr. Berthold Laufer, of the Field Museum of Natural History, Chicago. These volumes, some wholly in Manchu and others in both Manchu and Chinese, are reports to the throne on the condition of the treasury, on the kinds and quality of valuables received and stored in the palace in given years, rents collected or due from imperial lands, and the distribution of bounties to Manchu and Mongol bannermen. Aside from their obvious economic interest, they yield information of great historical and cultural value. Dr. Laufer generously prepared an analytical catalog describing each item in detail. A brief summary of this catalog shows that the Treasury accounts range from the year 1668 to 1808, one even as late as 1904. These list the stocks in the silk treasury, military stores, tribute, or presents from foreign States, etc. Yellow labels pasted beside the entries indicate where particular objects were stored and for whom they were intended. The reports of the minister of the imperial household show the disbursements for sacrificial purposes, the expenses of the imperial coach department, incidental expenses at the various city gates, and the yearly consumption of such items as fruit, salt, etc. A few documents, all

of the eighteenth century, give specifications for the construction of palace buildings, bridges, or roads, and show materials used, weights and measurements required, number of workmen employed, wages paid, etc. Large folded albums show graphically the standing of certain Manchu banners and the officers to whom the various clans owed allegiance. The earliest of these is dated 1699, the latest 1807. The documents dealing with the distribution of bounties to Manchu and Mongol bannermen cover practically every year from 1724 to 1750, with stray items as late as 1844. The sum that allotted ranged ordinarily from 6 to 12 taels, but for princes and high dignitaries were as much as 1,000 taels.

凡 例

- 一、本目録は、米国議会図書館所蔵の“Barrett Collection”と呼称される文書類を整理したものである。
- 一、本目録は、Barrett 氏自身が付された番号を基礎して、文書ごとに通し番号を付した。本来であれば、文書の内容ごとに分類すべきであるが、米国議会図書館では、基本的に Barrett 氏の付した番号にしたがって保存しているので、今後、本文書を閲覧する際の便をはかるため、通し番号のあとに Barrett 氏の番号を示した。しかし、Barrett 氏の整理には問題があり、おなじ番号のなかに複数の異なる文書が含まれている。整理にあたっては、これら異なる文書を a、b、c の記号を付して区別した。したがって、「1 No.1a ……」とあれば、最初の番号「1」は本目録の通し番号、つぎの「No.1」などとあるのは Barrett 氏の付した番号。「a」は、複数ある文書のうちのひとつという意味である。たとえば、米国議会図書館において閲覧する場合は、Barrett 氏の付した番号（この場合は「No.1」）を記して請求してほしい。
- 一、各文書は、①表題、②年記、③寸法、④形態、⑤葉数、⑥備考の順に、整理した。
- 一、目録中の下線は、文書の欠落を編者が補った部分を示す。
- 一、目録中の文書表題などに「○○年閏三月」などとあるのは、朝代年次不明で月次のみわかるものを示す。
- 一、目録中に「□□□……」とあるのは、本文欠落で不明な部分を示す。
- 一、目録中の満洲語のローマ字転写については、Möllendorff, P. G. von ; *A Manchu Grammar* 所載の方式にしたがった。

- 1 No.1 a ①広儲司黄冊 ②なし (Barrett は乾隆年間とする) ③49.5×37cm ④満文檔 ⑤全3葉 ⑥文書の各所に満漢文の「廣儲司」の印あり。第1、2葉と最終葉のみ広儲司の黄冊の一部。他は別の広儲司の行来文檔。
- 2 No.1 b ①広儲司行来文檔 ②年記 ③49.5×37cm ④満文檔冊 ⑤44葉 ⑥不全。内容から広儲司の檔冊と思われる。No.1 a と合綴 (第3～第47葉)。
- 3 No.2 ①銀庫黄冊 (四柱清冊) ②乾隆二十二年 (1757) ③42×27.5cm ④満文檔冊 ⑤53葉 ⑥表紙には「乾隆二十二年分黄冊底」とある。乾隆四年 (1739) 十一月初三日付の宗人府の満漢文合璧の知照が貼付される。
- 4 No.3 ①銀庫黄冊 (四柱清冊) ②年記なし ③41×26.5cm ④満文檔冊 ⑤85葉 ⑥表紙には「嘉慶十三年黄冊四項」とある。表題は漢文なるも中は満文。
- 5 No.4 a ①銀庫黄冊 (四柱清冊) ②後補の表紙題簽に「雍正八年……」とあるが、あきらかに後世の書き入れ ③41×26.5cm ④満・漢文檔冊 (主として満文) ⑤77葉 ⑥前欠。後補の表紙には「雍正八年分黄冊四項」とあるが、形式から見て雍正のものではない。嘉慶か。
- 6 No.4 b ①銀庫黄冊 (四柱清冊) ②No.4 a と同じ ③41×26.5cm ④満文檔冊 ⑤40葉 ⑥前欠、後欠。No.4 a と合冊。その理由は不明であるが、ともに銀庫の四柱清冊である。書式から見て、雍正のものか。
- 7 No.5 ①銀庫黄冊 (四柱清冊) ② (嘉慶十四年 <1809>) ③41×27cm ④満文檔冊 ⑤68葉 ⑥第一葉裏に「康熙五年」の書き込みのある四柱清冊の一部が貼付されているが後補。また後補の表紙題簽には「康熙二十四年分黄冊」とあるが、あきらかに後世の書き入れ。
- 8 No.6 a ①黄冊 (銀庫か) ②なし ③43×29cm ④満文檔冊 ⑤13葉 ⑥不全。No.6 b と合冊。その理由は不明。
- 9 No.6 b ①行来文檔 (会計司か) ②記事中に康熙年間の日付あり ③44×29cm ④満文檔冊 ⑤26葉 ⑥不全。その理由は不明。表紙は、この行来文檔冊の紙背を用いている。
- 10 No.7 a ①謹造甘珠爾經記錄冊 ② (康熙二十七年 <1688>) 正月初八日

起) ③40×28cm ④満文檔冊 ⑤15葉 ⑥表紙には「elhe taifin i orin nadaci aniya aniya biyai ice jakūn cideribume, g'anjuring weilerede, hese wasimbuha, wesimbuhe, ambasa de alaha be ejehe dangse」とある。

11 No.7b ①富戸未完銀兩人員花名 ②なし ③40×28cm ④漢文檔冊 ⑤12葉 ⑥満漢文の「總管式旗錢糧圖記」の捺印あり。

12 No.8a ①慎刑司上三旗佐領管領欠損銀兩数目冊 ②(雍正五年〈1727〉四月起) ③40×28cm ④満文檔冊 ⑤10葉(表紙込み) ⑥表紙には「ilan gūsai niru, hontohoi urse juwen gaiha, edelehe talaha boigon i ursei menggun i dangse」とある。表紙左上に「šen hing sy (慎刑司)」の捺印あり。

13 No.8b ①黄冊実存(銀庫か。乾隆五十年十二月分) ②なし(乾隆五十一年〈1786〉) ③40×28cm ④漢文檔冊 ⑤17葉 ⑥表紙には「乾隆五十年十二月分黄冊實存」とある。

14 No.9a ①広儲司存貯物品数目冊 ②なし ③38×28cm ④満文檔冊 ⑤53葉 ⑥前半欠。

15 No.9b ①広儲司存貯物品数目冊 ②なし ③38×28cm ④満文檔冊 ⑤12葉 ⑥前後欠。No.9a の後ろに天地逆に綴じられている。

16 No.10a ①慎刑司上三旗佐領管領欠損銀兩数目冊 ②(雍正五年〈1727〉四月起) ③41×28cm ④満文檔冊 ⑤6葉(表紙込み) ⑥表紙には「ilan gūsai niru, hontoho ursei edelehe li ing gui i bele i menggun dangse」とある。表紙左上に「šen hing sy」(慎刑司)の捺印あり。

17 No.10b ①慎刑司上三旗佐領管領欠損銀兩数目冊 ②(雍正五年〈1727〉四月起) ③41×28cm ④満文檔冊 ⑤12葉(表紙込み) ⑥表紙には「ilan gūsai niru hontoho ursei edelehe cafun i menggun dangse」とある。表紙左上に「šen hingsy」(慎刑司)の捺印あり。

18 No.10c ①藍冊実存(銀庫か。嘉慶元年四月分) ②嘉慶元年(1796) ③41×28cm ④漢文檔冊 ⑤21葉 ⑥表紙には「嘉慶元年四月分藍冊實存」とある。印なし。

19 No.11a ①宮中营造工匠及銀兩数目冊 ②康熙十二年(1773) ③32×30cm ④満文檔冊 ⑤12葉 ⑥不全

- 20 No.11 b ①宮中工匠及銀兩数目冊 ②なし（康熙十二年〈1773〉か）
③32×30cm ④満文檔冊 ⑤2葉 ⑥No.11 a とは天地逆に綴じ込んである。これは、元来ひとつの文書であったと思われる。
- 21 No.11 c ①歇山書房西山淨房二間營造工匠資材銀兩数目冊 ②なし
③32×30cm ④漢文檔冊 ⑤35葉 ⑥三部分に分かれ、各々「十二号」、「一号」、「廿四号」という番号が末尾に付されている（冊次順）。
- 22 No.12 a ①fucihi be tuwame nirure ba 行來文檔冊 ②康熙三十九
（1700）、四十、四十一、四十二年 ③37×27.5cm ④満文檔冊 ⑤26葉
⑥不全。掌儀司、營造司、慶豊司等、内務府各司との行來文等を記録。
- 23 No.12 b ①fucihi be tuwame nirure ba 行來文檔冊 ②康熙四十二
年（1703）か ③37×27.5cm ④満文檔冊 ⑤68葉 ⑥不全。No.12 a の
続きで、康熙四十二年五月～十月分か。内務府各司との行來文等を記録。
- 24 No.13 a ①内務府管下官署行來文檔冊 ②康熙二十九年（1690）③28
×29.5cm ④満文檔冊 ⑤60葉 ⑥不全。掌儀司、營造司等、内務府各司
との行來文等を記録。No.12 a と同様、この文書の後尾に2葉天地逆に満
文文書が綴じられている。太皇太后の法要関係の記事を含む。
- 25 No.13 b ①内務府管下官署行來文檔冊 ②康熙二十九年（1690）か
③28×29.5cm ④満文檔冊 ⑤2葉 ⑥不全。
- 26 No.13 c ①宮中營造仕法及工匠資材数目冊 ②なし ③28×29.5cm
④漢文檔冊及清單 ⑤49葉 ⑥不全。
- 27 No.14 a ①内務府管下官署行來文檔冊 ②なし。康熙か ③29.5×27.5
cm ④満文檔冊 ⑤65葉 ⑥不全。内務府各司との行來文等を記録。
- 28 No.14 b ①宮中營造工匠及資材数目冊 ②なし ③29.5×27.5cm
④漢文清單 ⑤35葉 ⑥不全。関係のないNo.14 a と合冊されている。
- 29 No.15 a ①正黄旗漢軍紅白冊 ②乾隆十年（1745）十月 ③30×22cm
④満文檔冊 ⑤26葉 ⑥各葉1件の記載。
- 30 No.15 b ①鑲黄旗漢軍紅白冊（〇〇年十一月分）②なし。乾隆前半か
③30×22cm ④漢文檔冊及び漢文清單 ⑤35葉 ⑥表紙には「鑲黄旗漢
軍行内務府衙門爲移送十一月分紅白事件領過恩賞銀兩花名數目細冊」とあ
る。

31 No.16 a ①正黄旗漢軍紅白冊 ②乾隆十三年(1748)十一月 ③30×
21.5cm ④滿文檔冊 ⑤35葉 ⑥各葉1件の記載。

32 No.16 b ①鑲黄旗漢軍紅白冊(乾隆九年六月分) ②乾隆九年(1744)
七月 ③30×21.5cm ④漢文檔冊及び漢文清單 ⑤39葉 ⑥表紙には「鑲
黄旗漢軍行内務府衙門爲移送六月分紅白事件領過恩賞銀兩花名數目細冊」
とある。

33 No.17 a ①銀両数目記録冊 ②なし ③28.5×15.5cm ④滿文冊子
⑤26葉(表紙込み) ⑥滿文表題「geren i gajiha menggun be ejehe
dangse」(皆が持ち寄った銀の記録簿)。官衙の檔冊ではないようで、か
なり私的な覚え書き。後半部に暢春園から広儲司への来文がみられ、同司
関係の人物の記録か。

34 No.17 b ①鑾儀衛生息銀両典置地畝清冊 ②嘉慶九年(1804) ③29×
19cm ④漢文檔冊 ⑤27葉 ⑥No.18 b と関連。

35 No.18 a ①康熙七年宮中真珠管理記録冊 ②康熙七年(1668) ③23.7
×18cm ④滿文檔冊 ⑤69葉 ⑥関係のない No.18 b と合冊されている。

36 No.18 b ①鑾儀衛生息租銀各項清冊 ②嘉慶九年(1804) ③29×19cm
④漢文檔冊 ⑤5葉 ⑥No.17 b と関連。

37 No.19 a ①鑲藍旗滿洲蒙古紅白冊(雍正三年十月分) ②雍正三年(1725)
十一月十二日 ③26×21cm ④滿文檔冊 ⑤26葉 ⑥表紙には「kubuhe
lamun i manju gūsai kesi isibure gūsin ilan baita de šangnaha meng-
gun duin tanggū susai juwe yan, monggo gūsai kesi isibure juwan
juwe baita de, šangnaha menggun emu tanggū ninju duin yan, manju
monggo juwe gūsai kesi isibure uheri dehi sunja baita de, šangnaha
menggun ninggun tanggū juwan ninggun yan, hūwaliyasun tob i
ilaci aniya juwan biyai narhūn dangse」とある。

38 No.19 b ①宮中營造工匠及資材数目冊 ②なし ③26×21cm ④漢文
清單 ⑤21葉 ⑥不全。関係のないNo.19 a と合冊されている。

39 No.20 a ①正紅旗閑散宗室花名 ②なし ③27.5×24.5cm ④滿文檔
冊 ⑤9葉 ⑥表紙に「gulu fulgiyan i sula uksun 正紅旗閑散宗室」
とある。じつは、元来、表紙には漢字で「正紅」とのみあったものを、別
筆によって「旂閑散宗室」ならびに滿文の表題が書き加えられている。こ

れはその筆跡から見て、当該官署の官人によってなされたものであろう。

- 40 No.20 b ①正紅旗四覺羅佐領閑散宗室數目花名 ②なし ③27.5×24.5 東
cm ④滿文檔冊 ⑤8葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan i duin gioroi
nirui sula giorosai ton」とある。また、「宗人府」の印が、第5葉まで 洋
捺されている。
- 41 No.20 c ①乾隆十二年盛京内庫出入細數銷算清冊 ②乾隆十二年 (1747) 学
③29.5×25cm ④漢文檔冊 ⑤13葉 ⑥茶表紙。赤の題簽に上記の表題が 報
記されている。滿漢文の「管理盛京内庫關防」の印あり。
- 42 No.21 ①武備院黃冊 ②なし。(乾隆四十五年 <1780>) ③33×29.5
cm ④滿漢合璧檔冊 ⑤全153葉(滿文91葉、漢文62葉) ⑥漢文前欠。乾
隆四十三年旧管、乾隆四十四年新収の記事。
- 43 No.22 a ①武備院黃冊 ②なし(康熙二十年 <1681>) ③33×30.5cm
④滿文檔冊 ⑤42葉 ⑥康熙十八年旧管の記事。
- 44 No.22 b ①武備院黃冊断簡 ②なし ③33×30.5cm ④滿文檔冊断簡
⑤1葉 ⑥断簡。1葉のみ、No.22 aのあとに綴じられている。改鑄の武
備院の印が捺されているので、概ね雍正末年から乾隆以降のものと判断で
きる。
- 45 No.22 c ①武備院黃冊 ②なし(康熙年間) ③33×30.5cm ④滿文
檔冊 ⑤6葉 ⑥不全。6葉のみが、No.22 bのあとに綴じられている。
No.22 aの書式ならびに印が同じであるので、これと同時期のものと判断
できる。
- 46 No.22 d ①緞庫黃冊 ②雍正十二年 (1734) 八月二十八日 ③33×30.5
cm ④滿漢合璧檔冊 ⑤全45葉(滿文29葉+漢文16葉) ⑥雍正十年緞庫
旧存、雍正十一年新収の記事。
- 47 No.23 ①銀庫黃冊 ②乾隆四年 (1739) 九月二十九日 ③23.3×30.2
cm ④滿漢合璧檔冊 ⑤全101葉(滿文65葉、漢文37葉。最終葉、日付の
ところは共通) ⑥乾隆二年旧管、乾隆三年新収の記事。滿文末尾、日付
の部分に漢文で「于乾隆五年八月二十二日批本郎中七達色交出特記」とあ
る。 第八十卷
- 48 No.24 ①武備院黃冊 ②なし(乾隆十八年 <1753>) ③31.5×29.5cm
④滿漢合璧檔冊 ⑤全105葉(滿文58葉+漢文47葉) ⑥漢文前欠。乾隆十 九四

六年旧管、乾隆十七年新収の記事。

- 彙 49 No.25 a ①武備院黃冊 ②なし（乾隆元年〈1736〉）③30×27.5cm
④滿文檔冊 ⑤19葉 ⑥不全。雍正十二年旧管、雍正十三年新収の記事。
- 報 50 No.25 b ①宮中营造仕法及工匠資材数目冊綴 ②なし ③30×27.5cm
④漢文檔冊 ⑤全213葉（23葉+40葉+12葉+14葉+25葉+35葉+22葉+42
松村・加藤 葉）⑥前欠。8ヶ所の营造に関する記事。
- 51 No.26 a ①滿文題本 ②なし。乾隆十二年（1747）③25×12cm
⑤25面 ⑥前、後欠。旗人の人事考課に関する題本。
- 52 No.26 b ①漢文題本（総管内務府）②なし（乾隆五十三年〈1788〉）
③25×12cm ⑤9面 ⑥後欠。内務府の六庫郎中舒璽等が、乾隆五十二
年における内府三旗（上三旗）三十五佐領が所有する官房からの徴租の類
に関する報告。題本の表面に満漢合璧の「總管内務府印」あり。また表面
右上に漢文硃批で「知道了併發」とあり。
- 53 No.27 a ①滿文題本（総管内務府）②乾隆十二年（1747）六月十一日
③25×12cm ⑤13面 ⑥総管内務府大臣 hošoi tob 親王 yun lu 等の名
あり。満文で「saha」の硃批あり。乾隆十一年盛京の村莊穀数の報告。本
題本とは関係のないNo.27 b が表裏逆に貼付されて満漢合璧を装っている。
- 54 No.27 b ①漢文題本（総管内務府）②乾隆二十七年（1762）七月二十
日 ③25×12cm ⑤6面 ⑥総管内務府の題本。同大臣来保等の名あり。
文末の日付の部分に満漢合璧の「總管内務府印」あり。
- 55 No.28 a ①満漢合璧題本（銀庫）②なし。（嘉慶十二年〈1807〉）③25
×12cm ⑤20面（満文10面、漢文10面）⑥漢文前欠。満文部分の封面に
官印あり。嘉慶十一年分の蒙古王公台吉の進貢に対する賞賜銀兩等の件。
- 56 No.28 b ①滿文題本 ②なし ③25×12cm ⑤4面 ⑥不完。上三旗
村莊徴租額に関する件。No.28 a とはまったく別の文書。No.28 a の漢文
部分の欠損部分に貼付されている。
- 第 57 No.29 a ①漢文題本（総管内務府）②なし ③25×12cm ⑤8面
八十 ⑥後欠。欠損部分にまったく別の漢文文書の上奏者名（2面）が、またそ
十 卷 のうしろには「總管内務府」の騎縫印の捺された満文題本の一部分（わず
か2名の奏者名を記すのみ）が貼付されている。また、それにつづいて
九 No.29 b が貼付されているが、これまたまったく別の文書である。
三

- 58 No.29 b ①漢文題本 ②なし ③25×12cm ⑤7面 ⑥後欠。乾清宮御用の果実関係の報告(掌儀司果房か)。乾隆五十八年(1793)四月より五十九年八月までの収購数を報告していることからみて、このころに出されたものであろう。No.29 a と貼付されているが、別の文書である。
- 59 No.30 a ①漢文題本(総管内務府) ②嘉慶十二年(1807)四月初三日 ③25×12cm ⑤8面 ⑥内務府大臣蒞布等の上奏者名の部分のみ。本文なし。
- 60 No.30 b ①漢文題本(総管内務府) ②嘉慶三年(1798)八月十九日 ③25×12cm ⑤9面 ⑥後欠。上奏者の部分がほとんど欠けている。嘉慶元年、二年分の宮中御用の存剰米石数目報告。漢文硃批「知道了」とあり。末尾の欠けた部分にまったく関係のない満文題本の満文上奏者名(6面)の部分が貼付され、満漢合璧を装っている。
- 61 No.31 ①満文題本(総管内務府) ②雍正四年(1726) ③25×12cm ⑤40面 ⑥題本表面に、総管内務府の会計報告。後欠。満文で「gisurehe songkoi obu」という硃批あり。
- 62 No.32 ①満漢合璧題本(総管内務府) ②嘉慶二十二年(1817)七月初九日 ③26×12cm ⑤満文23面、漢文17面 ⑥満文は前欠。漢文表面に「知道了」の硃批がみえる。
- 63 No.33 ①世職承襲系図 ②なし ③57.5×52.5cm ④満文系図 ⑤1葉 ⑥初次 yabka より八次 sungšan まで記載。印なし。No.33~No.41は、すべて系図(但しNo.37、No.39、No.40を除く)で、世職承襲、佐領承襲に関する檔案には奏摺、旨、緑頭牌、系図からなるが、この7件は系図のみである。
- 64 No.34 ①世管佐領承襲系図 ②なし ③52.5×112cm ④漢文系図 ⑤1葉 ⑥初次図勒慎より錫吏まで。表紙の黄箋に「此佐領原係錫璋之高祖圖勒慎由松花江……」とあり。
- 65 No.35 ①世管佐領承襲系図 ②なし ③51.5×68.5cm ④満文系図 ⑤1葉 ⑥初次 sentehe から八次 guišan まで。題簽には「ere niru dade guišan i banjiha eshen da mafa meigio i jui sentehe elhe taifin i gūsin jakūci aniya de fuldu niruci einu niru fakcafi sentehe de bošo-buha, jalan halame bošoro niru」とあり。

66 No.36 ①世管佐領承襲系図 ②なし ③68×52.5cm ④満文系図 ⑤1葉 ⑥初次 kecenī から十次 šocang まで。題籤には「ere niru dade šocang ni da mafa kecenī kingkan i gašan baci gajiha haha be fukjin niru banjibufi kecenī de bošobuha, jalan halame bošoro niru」とある。

67 No.37 ①満漢合璧題本（総管内務府）②乾隆五十三年（1788）十二月十八日 ③25.5×12cm ⑤12面 ⑥会計報告ならびに黄冊進呈の件。満漢文ともに前半欠。満文は上奏者名の一部のみ。漢文の記事も2面ぎず。

68 No.38 ①世管佐領承襲系図 ②なし ③52.5×230.5cm ④満文系図 ⑤1葉 ⑥初次 kanggūri から二十次 ts'ngšui まで。

69 No.39 ①満漢合璧題本（総管内務府）②乾隆四十一年（1776）九月初三日 ③25×12cm ⑤22面 ⑥広儲司が緞庫、衣庫、茶庫三庫の什物数目を奏聞するにあたっての題本。満文表面に「saha cese be bibufi tuwaki」、漢文表面に「知道了册留覧」の硃批あり。

70 No.40 ①満漢合璧題本（総管内務府）②乾隆十九年（1754）十二月十九日 ③24.5×12cm ⑤51面 ⑥漢文前半欠。乾隆十八年の盛京広寧等地方三旗村庄人丁地畝錢糧数目報告。満文表面に「saha」の硃批あり。

71 No.41 ①世管佐領承襲系図 ②なし ③52.5×440cm ④満文系図 ⑤1葉 ⑥黄箋に「ere niru dade šanmoo i da mafa mungatu taidzu dergi hūwangdi be baime jihe manggi fukjin niru banjibufi munggatu de bošobuha, jalan halame bošoro niru」とある。

72 No.42 ①鑲黃旗紅白冊抄（乾隆三年八月十六日より三十日までの分）②乾隆三年（1738）③27.8×24.5cm ④満文冊子 ⑤30葉（表紙を含む）⑥表紙には「abkai wehiyehe i ilaci aniya jakūn biyai juwan ninggun ci deribume gūsin de isibume jusiyo」にある。形式からみて官署の公的な檔冊ではなく、胥吏の手控えか。

73 No.43 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（〇〇年間三月分）②なし ③30×23cm ④満文檔冊 ⑤73葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju, monggo juwe gūtai ere aniya anagan ilan biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。

74 No.44 ①正藍旗滿洲紅白冊 ②雍正十年（1732）③30.5×21.5cm ④満文檔冊 ⑤10葉 ⑥前半欠。

75 No.45 a ①正黄旗護軍營各項壇差應得口食銀兩兵丁等花名冊 ②道光三年(1823)十一月 ③27.5×17.5cm ④滿文檔冊 ⑤15葉 ⑥表紙には「doro eldengge i ilaci aniya omšon biyai juwan emu juwan juwe de dele abkai mukdehun wecerede gulu suwayan i bayarai kūwaran ci tucibuhe dui tuwakiyara denjan ilire jilgan kadalara jugūn kadalara hafan cooha kunesun i menggun bahabuci acara ursei niru gebu i cese」とある。

76 No.45 b ①鑲藍旗漢軍紅白冊(乾隆十四年七月分) ②乾隆十四年(1749) ③30×21.5cm ④漢文檔冊 ⑤14葉 ⑥表紙には「乾隆十四年七月分 鑲藍旗漢軍領催兵等紅白事用過銀兩數目冊」とある。

77 No.46 a ①正黄旗漢軍紅白冊(乾隆十年八月分) ②なし(乾隆十年<1745>) ③30×22cm ④滿文檔冊 ⑤28葉 ⑥後半欠。表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i juwanci aniya jakūn de isibume coohai ursei fulgiyan šanggiyan baita narhūn ton i dangse」とある。

78 No.46 b ①鑲黄旗漢軍紅白冊 ②乾隆三年(1738)七月 ③30×22cm ④漢文檔冊 ⑤23葉 ⑥前欠。

79 No.47 ①鑲黄旗滿洲紅白冊 ②なし ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤29葉 ⑥前欠。

80 No.48 ①鑲黄旗蒙古紅白冊(○○年正月分) ②なし ③30×22cm ④滿文 檔冊 ⑤7葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i monggo gūsai ere aniya aniya biyade tucike fulgiyan šanggiyan i baita be sindaha kesi isibure menggun ton i dangse」とある。

81 No.49 ①正藍旗滿洲蒙古紅白冊 ②乾隆七年(1742) ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤10葉 ⑥表紙には「gulu lamun i manju monggo gūsai bithe, abkai wehiyehe i nadaci aniya juwe biyade kesi isibure menggun buhe dangse emu debtelin, doroi baita be uheri kadalara yamun de alibume unggihe」とある。

82 No.50 a ①宮中營造銀兩支出記録簿 ②なし(康熙二十九年<1690>) ③32×22cm ④滿文冊子 ⑤15葉 ⑥官署の公的な檔冊ではなく、おそらく胥吏の日々の銀支出記録。第15葉のところで3葉欠落があり、つぎの1葉の裏は別の銀の支出記録No.50 bが天地逆に記されている。

83 No.50 b ①宮中营造銀兩支出記録簿 ②康熙二十九年(1690)十月初五日 ③32×22cm ④満文冊子 ⑤3葉 ⑥官署の公的な檔冊ではなく、胥吏の日々の銀支出記録か。最終葉の裏にNo.50 aの末尾が天地逆に記されている。

報

84 No.50 c ①宮中营造銀兩支出記録簿 ②康熙二十九年(1690)正月二十八日 ③32×22cm ④満文冊子 ⑤9葉 ⑥官署の公的な檔冊ではなく、胥吏の日々の銀支出記録か。第1葉に、漢字で「康熙二十九年」とある。

松村・加藤

85 No.51 ①鑲黄旗満洲蒙古紅白冊 ②なし ③30.5×22cm ④満文檔冊 ⑤61葉 ⑥表紙欠。後ろ8葉は、鑲黄旗蒙古の紅白冊。

86 No.52 ①鑲黄旗満洲蒙古紅白冊(雍正十一年四月分) ②雍正十一年(1733) ③30.5×22.5cm ④満文檔冊 ⑤67葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i juwan emuci aniya duin biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。

87 No.53 a ①正黄旗漢軍紅白冊(乾隆六年九月分) ②乾隆六年(1741)九月 ③30×22cm ④満文檔冊 ⑤30葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i ningguci aniya uyun biyai ice ci deribume, ineku biyai orin uyun de isibume, hafan coohai ursei fulgiyan šanggiyan baita be baitalaha menggun i narhūn ton i dangse」とある。末葉裏の欄外に「拾月拾肆収」とある。

88 No.54 ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊 ②道光十五年(1835)十二月 ③30.5×19.5cm ④満文檔冊 ⑤20葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei ere aniya šangnaha emu biyai usin turigen i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

第八十卷

89 No.55 ①鑲黄旗満洲蒙古紅白冊(雍正七年十二月分) ②雍正七年(1729)十二月 ③30.5×22cm ④満文檔冊 ⑤13葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i nadaci aniya jorgon biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。

八九

- 90 No.56 ①正黄旗漢軍紅白冊（乾隆六年四月分）②乾隆六年（1741）四月 ③30.5×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤35葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i ningguci aniya duin biya i ice ci deribume, orin uyun de isibume, hafan coohai ursei fulgiyan šanggiyan baita narhūn ton i dangse」とある。東洋
- 91 No.57 ①正黄旗漢軍紅白冊（乾隆七年九月分）②乾隆七年（1742）九月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤42葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i nadaci aniya uyun biyai hafan coohai ursei fulgiyan i baita hacin, baitalaha menggun ton i narhūn dangse」とある。表紙左欄外に「預領十月分三百匁」とある。学報
- 92 No.58 ①正紅旗漢軍紅白冊（乾隆二年二月分）②乾隆二年（1737）三月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤32葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe jai aniya juwe biyai ice ci deribu me gūsin de / isibume / urgun jobolon baitai ton šangnaha menggun i ton i narhūn dangse」（/……/内は編者補）とある。表紙左欄外に「看過」の文字。基本的に1葉1件。
- 93 No.59 ①正黄旗漢軍紅白冊（乾隆十年十二月分）②乾隆十年（1745）十二月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤55葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i juwanci aniya jorgon biyai ice ci deribume, ineku biyai gūsin de isibume, hafan coohai ursei fulgiyan šanggiyan baita be baitalaha menggun i narhūn ton i dangse」とある。記事は基本的に各葉1件の記載。
- 94 No.60 ①正紅旗漢軍紅白冊（乾隆十五年二月分）②乾隆十五年（1750）三月 ③30×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤25葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i tofohoci aniya juwe biyade fulgiyan šanggiyan i baita hacin, šanggiyan buhe menggun ton i dangse」とある。
- 95 No.61 ①正黄旗漢軍紅白冊（乾隆三年五月分）②乾隆三年（1738）六月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤33葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai, abkai wehiyehe i ilaci aniya sunja biyai ice ci deribume, ineku biyai gūsin de isibume, hafan coohai ursei fulgiyan šanggiyan baitai dangse」とある。記事は各葉1件の記載。第八十卷

96 No.62 ①正紅旗漢軍紅白冊（乾隆七年十二月分）②乾隆八年（1743）正月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤30葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i nadaci aniya jorgon biyade, fulgiyan šanggiyan i baita i hacin, šangname buhe mengun ton i narhūn dangse」とある。

97 No.63 ①鑲紅旗滿洲蒙古紅白冊（乾隆十四年十一月分）②なし（乾隆十四年〈1749〉）③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤76葉 ⑥表紙には「kubuhe fulgiyan i manju monggo juwe gūsai abkai wehiyehe i juwan duici aniya omšon biyai ice ci orin uyun de isibume, tucike fulgiyan šanggiyan baita uyunju duin hacin, buhe kesi menggun emu minggan susai duin yan i ton i narhūn cese」とある。記事は基本的に1葉1件。

98 No.64 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（乾隆九年二月分）②乾隆九年（1744）③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤51葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya juwe biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後半が鑲黃旗蒙古の紅白冊。報告の際に鑲黃旗滿洲衙門で合綴したもの。表紙左に小さく「行内務府」の記述あり。

99 No.65 ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊（道光五年十一月分）②道光五年（1825）十月 ③30.5×19.5cm ④滿文檔冊 ⑤26葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašaburecooha ursei omšon biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

100 No.66 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（雍正十一年二月分）②雍正十一年（1733）二月 ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤59葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i juwan emuci aniya juwe biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ12葉が、鑲黃旗蒙古の紅白事件冊。報告の際に鑲黃旗滿洲衙門で合綴。騎縫には、滿洲部分が滿漢文の「鑲黃旗滿洲都統之印」、蒙古部分は滿漢文の「鑲黃旗蒙古都統之印」を使用。表紙左上に「三月初五日送到」とあり。

101 No.67 ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊 ②なし ③30.5×19.5cm ④滿文檔冊 ⑤22葉 ⑥表紙には「iowan ming

yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei šangnara emu biyai caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。最終葉欠。東

- 102 No.68 ①円明園包衣三旗護軍營教養兵應得銀兩旗佐領花名數目冊 洋
(道光十四年十一月分) ②道光十四年(1834)十一月 ③30.5×19.5cm
④滿文檔冊 ⑤21葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai 学
bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei omšon 報
biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu
ton i cese」とある。

- 103 No.69 ①正紅旗漢軍紅白冊(乾隆四年正月分) ②乾隆四年(1739)
正月 ③30×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤23葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan
i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i duici aniya aniya biyai fulgiyan
šanggiyan i baita i hacin, šangnaha mengun ton i narhūn dangse」
とある。

- 104 No.70 ①正黃旗漢軍紅白冊(乾隆六年十月分) 乾隆六年(1741)十
月 ②30×22cm ③滿文檔冊 ④22葉 ⑤表紙には「gulu suwayan i
ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i ningguci aniya juwan biyai ice
ci deribume, gūsin de isibume, hafan coohai ursei fulgiyan šanggiyan
baita narhūn ton i dangse」とある。記事は各葉1件の記載。

- 105 No.71 ①鑲藍旗滿洲蒙古紅白冊(雍正三年正月分) ②雍正三年(1725)
二月初八日 ③26×21cm ④滿文檔冊 ⑤49葉 ⑥表紙に「kubuhe lamun
i manju gūsai kesi isibure nadanju uyun baita de, šangnaha menggun
nadan tanggū nadanju duin yan, monggo gūsai kesi isibure juwan
nadan baita de šangnaha menggun juwe tanggū orin ninggun yan
manju monggo juwe gūsai uheri uyunju nadan baita de šangnaha
menggun emu minggan yan, hūwaliyasun tob i ilaci aniya, aniya
biyai narhūn dangse」とある。原表紙と最終葉以外、本文は茶色の罫紙
が用いられている。現在の黄色の表紙は後補。

- 106 No.72 ①鑲藍旗滿洲蒙古紅白冊(雍正十一年三月分) ②雍正十一年
(1746)七月 ③27×22.2cm ④滿文檔冊 ⑤50葉 ⑥表紙には「kubuhe 第八十卷
lamun i manju gūsai kesi isibure orin ninggun baita de, šangnaha
menggun ilan tanggū gūsin ninggun susai yan, monggo gūsai kesi
isibure juwan emu baita de šangnaha menggun emu tanggū dehi 八六

juwe yan manju monggo juwe gūsai uheri kesi isibure gūsin nadan baita de šangnaha menggun duin tanggū nadanju jakūn yan, hūwaliyasun tob i juwan emuci aniya, ilan biyai narhūn dangse」とある。表紙と最終葉以外、本文は茶色の罫紙が用いられている。現在の黄色の表紙は後補。

108 No.73 ①鑲藍旗滿洲紅白冊 ②雍正十年二月 ②27.8×21.8cm ③滿文檔冊 ④70葉 ⑤表紙欠。最終葉（日付の部分）以外、本文は茶色の罫紙が用いられている。現在の黄色の表紙は後補。

109 No.74 a ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（雍正七年八月分）②なし（雍正七年〈1729〉）③31×22.2cm ④滿文檔冊 ⑤80葉 ⑥下欠。表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i nadaci aniya jakūn biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。現在の黄色の表紙は後補。

110 No.74 b ①正紅旗漢軍紅白冊 ②なし ③31×22.2cm ④滿文檔冊 ⑤31葉 ⑥前後欠。基本的に1葉1件。

111 No.74 c ①鑲黃旗漢軍紅白冊 ②なし ③31×22.2cm ④漢文檔冊 ⑤34葉 ⑥前後欠。

112 No.75 a ①正黃旗漢軍紅白冊（乾隆五年六月分）②乾隆五年（1740）四月 ③31×22cm ④滿文檔冊 ⑤60葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i sunjaci aniya ninggun biyai ice ci deribume, gūsin de isibume, coohai ursei fulgiyan šanggiyan baita narhūn ton i dangse」とある。記事は基本的に各葉1件の記載。現在の黄色の表紙は後補。

113 No.75 b ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（雍正七年七月分）②なし（雍正七年〈1729〉）③31×22cm ④滿文檔冊 ⑤62葉 ⑥下欠。表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i nadaci aniya nadan biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。現在の黄色の表紙は後補。

114 No.76 ①鑲藍旗滿洲蒙古紅白冊（雍正四年十二月分）②雍正五年（1727）正月 ③28.2×21cm ④滿文檔冊 ⑤59葉 ⑥表紙には「kubuhe lamun i manju gūsai kesi isibure uyunju juwe baita de, šangnaha menggun uyun tanggū ninju juwe yan, monggo gūsai kesi isibure

orin ilan baita de šangnaha menggun juwe tanggū gūsin jakūn yan, manju monggo juwe gūsai uheri kesi isibure uheri emu tanggū tofohon baita de šangnaha menggun emu minggan juwe tanggū yan, hūwaliyasun tob i duici aniya, jorgon biyai narhūn dangse」とある。本文は茶色の野紙を使用。現在の黄色の表紙は後補。

- 115 No.77 ①鑲黄旗満洲紅白冊 ②なし ③35×23cm ④満文檔冊 ⑤23葉 ⑥前後欠。基本的に1葉1件。

- 116 No.78 ①鑲黄旗満洲蒙古紅白冊(〇〇年五月分) ②なし ③30×22cm ④満文檔冊 ⑤66葉 ⑥下欠。表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya sunja biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ9葉が、鑲黄旗蒙古の紅白事件冊。報告の際に鑲黄旗満洲衙門で合綴。表紙欄外に「行」とあり、「行内務府」の略か。1葉1件。

- 117 No.79 ①鑲黄旗満洲蒙古紅白冊(乾隆五年三月分) ②乾隆五年(1740)四月 ③29×22cm ④満文檔冊 ⑤60葉 ⑥下欠。表紙に「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya ilan biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ7葉が、鑲黄旗蒙古の紅白事件冊。報告の際に鑲黄旗満洲衙門で合綴。基本的に1葉1件。表紙欄外に漢文で「行内務府」と小さくある。

- 118 No.80 a ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊(道光十八年六月分) ②道光十八年(1838)五月 ③30×19.5cm ④満文檔冊 ⑤24葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei ninggun biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu cese」とある。

- 119 No.80 b ①鑲藍旗護軍營各項壇差応得口食銀兩兵丁等花名冊(道光十二年十一月初一日) ②なし(道光十二年<1832>) ③27×17cm ④満漢合璧檔冊 ⑤14葉(満文7葉、漢文7葉) ⑥満漢の内容は一致。表紙には、満文で「kubuhe lamun i bayarai kūwaran doro eldengge i juwan juweci aniya omšon biyai ice de dele abkai muktehun wecerede meni gūsai tucibuhe eiten ilgan kadalara de angga jemege menggun babuci acara cooha ursei gebu cese」、漢文で「鑲藍旗護軍營道光十二年十一月初一日皇上恭祭天壇本旗派出各項壇差應得口食銀兩兵丁等花名冊」

とある。

彙 120 No.81 a ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊
報 (嘉慶十二年三月分) ②嘉慶十二年〈1807〉 ③30.5×21cm ④滿文檔冊
⑤24葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai
松村・ kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei ilan biyade caliyan
加藤 i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とあ
る。

121 No.81 b ①鑲藍旗漢軍紅白冊(乾隆十五年五月分) ②乾隆十五年
(1750) ③30×21cm ④漢文檔冊 ⑤15葉 ⑥表紙には「乾隆十五年五月
分 鑲藍旗漢軍領催兵等用過紅白事銀兩数目冊」とある。

122 No.82 ①正紅旗漢軍紅白冊(乾隆四年六月分) ②乾隆四年(1739)
七月 ③30×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤26葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan
i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i duici aniya ninggun biyai urgun
jobolon i baita hacin i ton, šangname buhe menggun ton i dangse」
とある。

123 No.82 b ①鑲藍旗漢軍紅白冊(乾隆四年〈1739〉四月分) ②なし
③30×22cm ④漢文檔冊 ⑤13葉(表紙込み) ⑥表紙には「乾隆四年四
月分 鑲藍旗漢軍用過紅白事銀兩数目冊」とある。

124 No.82 c ①鑲藍旗漢軍紅白冊(乾隆六年〈174?〉正月分) ②なし
③30×22cm ④漢文檔冊 ⑤13葉(表紙込み) ⑥表紙には「乾隆六年正
月分 鑲藍旗漢軍領催兵等領過紅白事銀兩数目冊」とある。

125 No.83 a ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊
(道光十四年八月分) ②道光十四年(1834)八月 ③30.5×19.5cm ④滿
文檔冊 ⑤25葉 ⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai
bayarai kūwaran emu yan jetere hūwašabure cooha ursei uyun
biyade caliyan i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu
ton i cese」とある。

第 126 No.83 b ①正白旗漢軍營選定各佐管領下閑散幼丁等花名冊 ②なし
八十 ③30.5×19.5cm ④漢文檔冊 ⑤12葉 ⑥表紙および各葉の騎縫として滿
卷 漢文の「正白旗漢軍都統之印」が捺されている。

八 127 No.84 a ①正藍旗滿洲蒙古紅白冊(乾隆七年十一月分) ②乾隆七年
三 (1742) 十二月 ③30×22cm ④滿文檔冊 ⑤12葉(表紙含む) ⑥表紙

には「gulu lamun i manju monggo gūsai abkai wehiyehe i nadaci aniya omšon biyade buhe kesi isibure menggun ton i dangse emu debtelin be dorgi baita be uheri kadalara yamun de ilibume unggihe」とある。

- 128 No.84 b ①鑲藍旗漢軍紅白冊（乾隆九年五月分）②乾隆九年（1744）五月 ③30×22cm ④漢文檔冊 ⑤10葉 ⑥表紙には「乾隆九年五月分鑲藍旗漢軍發給領催兵等紅白事用過銀兩數目冊」とある。

- 129 No.84 c ①正紅旗漢軍紅白冊 ②乾隆十年（1745）三月 ③30×22cm ④滿文檔冊 ⑤23葉 ⑥前欠。最終葉の日付および各葉の騎縫に、滿漢文の「正紅旗漢軍都統之印」が捺されている

- 130 No.84 d ①鑲藍旗漢軍紅白冊（乾隆十年二月分）②乾隆十年（1745）二月 ③30×22cm ④漢文檔冊 ⑤13葉 ⑥表紙には「乾隆十年二月分鑲藍旗漢軍領催兵等用過紅白事銀兩數目冊」とある。

- 131 No.85 ①正黃旗漢軍紅白冊（乾隆三年十月分）②乾隆三年（1738）③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤36葉 ⑥表紙に「gulu suwayan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i ilaci aniya juwan biyai ice ci deribume ineku biyai orin uyun de isibume hafan ursei fulgiyan šanggiyan i baitai narhün i dangse」とある。記事は基本的に各葉1件の記載。表紙右上に漢字で「三年十月」とある。

- 132 No.86a ①円明園包衣三旗護軍營教養兵應得銀兩旗佐領花名數目冊（道光十一年六月分）②道光十一年（1831）六月 ③30×20cm ④滿文檔冊 ⑤23葉（表紙含む）⑥表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran i emu yan jetere hūwašabure cooha ursei nadan biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

- 133 No.86 b ①円明園包衣三旗護軍營教養兵應得銀兩旗佐領花名數目冊（道光十八年十月分）②道光十八年（1838）九月 ③30×20cm ④滿文檔冊 ⑤24葉（表紙含む）⑥上部5cmほど欠落。表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran i emu yan jetere hūwašabure cooha ursei juwan biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

- 134 No.86 c ①鑲藍旗漢軍紅白冊（乾隆六年八月分）②乾隆六年（1741）八

③30.5×20.5cm ④漢文檔冊 ⑤10葉(表紙含む) ⑥表紙には「乾隆六年八月分 鑲藍旗漢軍領催兵等用過行白銀兩數目冊」とある。

135 No.87 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊(雍正八年正月分) ②雍正八年(1730) ③30×23cm ④滿文檔冊 ⑤83葉 ⑥下欠。表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai hūwaliyasun tob i jakūci aniya i aniya biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後半の16葉は、「kubuhe suwayan i monggo gūsai sindaha kesi isibure menggun i dangse」とあるように鑲黃旗蒙古紅白冊。

136 No.88 a ①円明園包衣三旗護軍營教養兵心得銀兩旗佐領花名數目冊(道光二年正月分) ②道光二年(1822)十二月 ③30.5×19cm ④滿文檔冊 ⑤24葉 ⑥折側破損。表紙には「iowan ming yuwan i booi ilan gūsai bayarai kūwaran i emu yan jetere hūwašabure cooha ursei aniya biyade caliyan i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

137 No.88 b ①鑾儀衛生息銀兩典置地畝清冊 ②なし(嘉慶二年〈1796〉) ③31×19.5cm ④漢文檔冊 ⑤27葉 ⑥自嘉慶元年起至本年十月止鑾儀衛生息銀兩典置地畝清冊。No.17b、No.18 b と関連。

138 No.89 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊(○○年五月分) ②なし ③31×22.5cm ④滿文檔冊 ⑤34葉(表紙を含む) ⑥下欠。表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai sunja biyade kesi isibure baita de šangnaha menggun dangse」とある。

139 No.90 ①正紅旗漢軍紅白冊(乾隆十五年正月分) ②乾隆十五年(1750)二月 ③29.5×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤15葉(表紙を含む) ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i tofohoci aniya aniya biyai, fulgiyan šanggiyan i baita hacin šangname buhe menggun ton i narhūn dangse」とある。

第
八
十
卷
140 No.91 ①正紅旗漢軍紅白冊(乾隆十年四月分) ②乾隆十年(1745)四月 ③31×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤27葉(表紙を含む) ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i juwanci aniya duin biyade fulgiyan šanggiyan i baita hacin, šangname buhe menggun ton i dangse」とある。

141 No.92 ①正黄旗漢軍紅白冊 ②乾隆十二年(1747)十一月 ③30×20.5cm ④滿文檔冊 ⑤28葉 ⑥前、後欠。記事は基本的に各葉1件の記載。

142 No.93 ①正紅旗漢軍紅白冊 ②乾隆十二年(1747)三月 ③30×21.5 cm ④滿文檔冊 ⑤27葉 ⑥前欠。記事は各葉1件の記載。

143 No.94 ①鑲藍旗滿洲蒙古紅白冊(雍正五年十一月分) ②雍正五年(1727)十二月 ③26.5×20.5cm ④滿文檔冊 ⑤26葉 ⑥表紙には「kubuhe lamun i manju gūsai kesi isbure baita dehi jakūn šangnaha menggun duin tanggū uyunju jakūn yan, monggo gūsai kesi isibure baita orin šangnaha menggun juwe tanggū orin ninggun yan, manju onngo juwe gūsai uheri kesi isibure baita ninju jakūn šangnaha menggun nadan tanggū orin duin yan, hūwaliasun tob i sunjaci aniya omšon biyai narhūn dangse」とある。本文は茶色の罫紙を使用。

144 No.95 ①円明園包衣三旗護軍營教養兵応得銀兩旗佐領花名数目冊(道光六年二月分) ②道光六年(1826)正月 ③29.5×19.5cm ④滿文檔冊 ⑤27葉 ⑥表紙一部破損。表紙には「iowan ming yuwan i booī ilan gūsai bayarai kūwaran i emu yan jetere hūwašabure cooha ursei juwe biyade caliyān i menggun bahabuci acara niyalmai gūsa niru gebu ton i cese」とある。

145 No.96 ①正藍旗滿洲蒙古紅白冊 ②雍正十一年(1733) ③29.5×21.5 cm ④滿文檔冊 ⑤8葉 ⑥表紙には「gulu lamun i manju monggo gūsai hūwaliasun tob i juwan emuci aniya juwe biyade, kesi isibure menggun buhe dangse, dorgi baita be uheri kadalarayamunde ilibume unggihe」とある。

146 No.97 ①鑲黄旗滿洲蒙古紅白冊 ②□□十四年十月 ③29.5×21cm ④滿文檔冊 ⑤72葉 ⑥前欠。日付の上の部分が破損し、朝代不明。後ろ13葉は鑲黄旗蒙古の紅白冊で元来は別綴じ。鑲黄旗滿洲都統衙門にて合綴。

147 No.98 ①正紅旗漢軍紅白冊(乾隆十年七月分) ②乾隆十年(1745)七月 ③30.8×22cm ④滿文檔冊 ⑤30葉 ⑥表紙には「gulu suwayan i ujen coohai gūsai, abkai wehiyehe i juwanci aniya nadan biyai ice ci deribume, orin uyun de isibume hafan coohai ursei fulgiyan šang-giyan baita narhūn ton i dangse」とある。綴じ紐に花押あり。

- 148 No.99 ①鑲黃旗滿洲紅白冊 ②なし ③30.5×22.5cm ④滿文檔冊 ⑤77葉 ⑥前欠。
- 149 No.100 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（乾隆二年閏九月分） ②乾隆二年（1737）十月 ③32.5×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤67葉 ⑥前欠。後ろ11葉は鑲黃旗蒙古の紅白冊。元來は別綴じ。
- 150 No.101 ①正藍旗滿洲蒙古紅白冊（乾隆六年八月分） ②乾隆六年（1741） ③30×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤8葉 ⑥表紙には「gulu lamun i manju monggo gūsai bithe abkai wehiyehe i ningguci aniya jakūn biyade kesi isibure menggun i ton i dangse emu debtelin be dorgi baita be uheri kadalara yamun de ilibume unggihe」とある。
- 151 No.102 ①鑲白旗漢軍紅白冊（乾隆二年六月分） ②乾隆二年（1737）七月 ③30.5×21cm ④滿文檔冊 ⑤10葉 ⑥表紙には「kubuhe šanggiyan i ujen coohai gūsai ninggun biyai coohai ursei fulgiyan šanggiyan i baita de kesi šangnafi menggun bahabuha getuken dangse」とある。
- 152 No.103 ①正紅旗漢軍紅白冊（乾隆八年正月） ②乾隆八年（1743）二月 ③30.5×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤17葉 ⑥表紙には「gulu fulgiyan i ujen coohai gūsai abkai wehiyehe i jakūci aniya aniya biyade fulgiyan šanggiyan i baitai ton šangname buhe menggun ton i dangse」とある。
- 153 No.104 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（〇〇年十一月） ②なし ③30.5×22cm ④滿文檔案 ⑤78葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya omšon biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ23葉は鑲黃旗蒙古の紅白冊で元來別綴じ。表紙右上に「十一月」とあり。
- 154 No.105 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（〇〇年八月） ②なし ③30.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤74葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya jakūn biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ14葉は鑲黃旗蒙古の紅白冊。鑲黃旗滿洲都統衙門にて合綴。
- 155 No.106 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊（乾隆十四年六月） ②乾隆十四年（1749） ③29.5×22cm ④滿文檔冊 ⑤61葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai ere aniya ninggun biyade sindaha

kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。後ろ13葉は鑲黃旗蒙古の紅白冊。

東

- 156 No.107 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊 ②乾隆七年(1742) ③30.5×22cm
④滿文檔冊 ⑤54葉 ⑥前欠。後ろ8葉は鑲黃旗蒙古の紅白冊。

洋

- 157 No.108 a ①正藍旗滿洲蒙古紅白冊(乾隆十五年四月分) ②乾隆十五年(1750)五月 ③30×18cm ④滿文檔冊 ⑤10葉 ⑥表紙には「gulu lamun i manju monggo gūsai abkai wehiyehe i tofohoci aniya duin biyade sindaha kesi isibure menggun i cese be dorgi baita be uheri kadalara yamun de ilibume unggihe;」とある。

学

報

- 158 No.109 a ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊 ②雍正十年(1732)四月 ③31×22cm ④滿文檔案 ⑤45葉 ⑥前半が鑲黃旗滿洲、後の13葉が鑲黃旗蒙古の紅白冊。

- 159 No.109 b ①侍衛處黃冊 ②なし(嘉慶八年<1803>) ③32×20.5cm ④漢文檔冊 ⑤16葉 ⑥嘉慶六年旧管、嘉慶七年新収。No.109 a とは天地逆に綴じられている。この両者が合綴されている理由は不明。

- 160 No.110 ①鑲黃旗滿洲蒙古紅白冊(〇〇年十二月分) ②なし ③30.5×21.5cm ④滿文檔冊 ⑤183葉 ⑥表紙には「kubuhe suwayan i manju monggo juwe gūsai duleke aniya jorgon biyade sindaha kesi isibure baita de šangnaha menggun ton i narhūn dangse」とある。前半が鑲黃旗滿洲、後半が鑲黃旗蒙古の紅白冊。

- 161 No.111 ①滿漢合璧題本(總管内務府) ②嘉慶元年(1796)十一月十四日 ③26×11.5cm ④滿漢合璧題本 ⑤36面 ⑥喜峰口外村莊等地的穀石数の報告。漢文部分は上奏者のごく一部分のみ。硃批は滿文の表面に「saha」とある。

- 162 No.112 ①滿漢合璧題本(総管内務府) ②乾隆七年(1742)六月二十二日 ③26×11.5cm ④30面 ⑤総管内務府出入の剩塩等の数目的報告。硃批は滿文の表面に「saha」、漢文の表面に「知道了」とある。

- 163 No.113 ①武備院黃冊(四柱清冊) ②なし(乾隆四十三年<1778>) ③33×29.5cm ④滿漢合璧檔冊 ⑤140葉(滿文:83葉、漢文:57葉) ⑥精鈔本。漢文のはじめの部分が欠落。滿漢文は一致。乾隆四十一年旧管、四十二年新収を記録。

第八十卷

七八

164 No.114 ①武備院黃冊 ②なし（光緒三十一年〈1905〉） ③33×29.5
cm ④満漢合璧檔冊 ⑤163葉（満文：62葉、漢文：61葉） ⑥精鈔本。漢
文の第一葉が欠。満漢文は一致。光緒三十年新収を記録。

報

松
村
・
加
藤

第
八
十
卷

七
七